

「オソリーワン徳島行動計画（第二幕）」 目標水準・数値目標  
平成20年度 進捗状況一覧表

1 目標水準、数値目標について

「オソリーワン徳島行動計画（第二幕）」では、7つの基本目標を具体化するための49の各重点施策ごとに、「目標水準」を定めるとともに、これを構成する主要事業についても、個々に「数値目標」を設定しており、平成20年度版計画においては、合計541の「目標水準」、「数値目標」を掲げているところです。

今回、「オソリーワン徳島行動計画（第二幕）」平成20年度版のそれぞれの「目標水準」、「数値目標」の進捗状況についてとりまとめました。

2 一覧表の見方について

(1) 「現況値」欄には、計画に記載している数値を記載しています。

(2) 「実績値」欄には、原則としてそれぞれの年度の年度末時点の数値等を記載しています。実績値が判明していない場合等は、「-」としています。

(3) 「目標値」欄には、平成20年度版計画において設定した、目標年度までに達成しようとする数値等を記載しています。

なお、※印の目標値は、平成21年度版計画において、上方修正をしております。

(4) 「進捗状況の説明」欄には、実績値の目標値に対する進捗状況の説明を記載しています。

(5) 「政策評価対象関連事業」欄には、各目標水準、数値目標を達成するために実施している政策評価対象事業の事業数及び平成21年度事業費規模を記載しています。

なお、昨年度の政策評価の対象事業及び関連事業には×印を付けております。

「オンリーワン徳島行動計画(第二幕)」目標水準・数値目標 進捗状況 集計

基本目標	指標数	目標年次が「H19・H20」			目標年次が「H21以降」の指標数
		指標数	左の内訳		
			達成	未達成	
①オープンとくしま	50	11	11	0	39
②経済飛躍とくしま	86	13	12	1	73
③環境首都とくしま	82	6	6	0	76
④安全・安心とくしま	108	29	28	1	79
⑤“まなびや”とくしま	65	13	12	1	52
⑥“みんなが”とくしま	65	8	8	0	57
⑦“にぎわい”とくしま	85	19	18	1	66
計	541	99	95	4	442

※「達成」には、目標年次H19でH20に達成した「3指標」を含む。

「オンリーワン徳島行動計画(第二幕)」目標水準・数値目標 進捗状況 一覧表

※印は21年度版で上方修正

番号	指標名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	<参考> 実績値 (19年度)	実績値 (20年度)	目標値	年度	進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
											事業数	H21 事業費
<b>基本目標1「オープンとくしま」の実現</b>												
<b>1-1 オープンとくしま体制づくり</b>												
1	外部専門家による監査委員数	人	4	17	委員定数を増加 (4→6)	4	5	6	22	平成19年3月に監査委員の定数を増加。平成20年4月に委員の増員(1名)を行った(監査委員数◎5名)。		
2	(未来創造プラン推進)外部有識者等からなる推進組織の設置		—			設置・推進	推進	設置・推進	19	外部有識者等からなる「とくしま未来創造プラン推進委員会」を設置(平成19年12月)し、第三者的な立場からプランの進行管理に取り組んでいただくとともに、平成20年度については、今後の県の「人材能力開発」への取組について提言をいただいている。		
<b>1-2 県民主役とくしまづくり</b>												
3	知事部局の情報公開度ランキング(全国)	位	—	17	5位	1位	—	3位以内	20	積極的な情報公開に努めた結果、平成19年度に1位となり目標を達成した。平成20年度実績は21年夏頃に判明予定。	1事業	百万円以上
4	「県庁コールセンター」の設置	箇所	—	17	—	検討中	検討中	3	21	21年秋試行運用開始。22年4月本格運用に向け準備を進めている。	1事業	一千万円以上
5	県ホームページ月間平均アクセス数	千件	204	17	213	189	193	250	22	引き続き積極的な情報提供に努める。		
6	「しゃべり場とくしま」、「とくしま円卓会議」の開催回数	回	9	17	13	12	12	14	22	しゃべり場を6回、円卓会議を6回開催。引き続き県民との対話を進める。		
7	「知事への提言」メール・はがき・手紙の受付件数	件	636	17	874	1,050	962	1,000	22	引き続き県民との意思疎通を図る。		
8	パブリックコメント実施件数	件	22	17	23	37	27	40	22	県のすべての行政機関においてオープンとくしまパブリックコメント制度を導入している。	1事業	百万円以上
9	県民広聴事業における県民相談件数	件	5,507	17	5,377	5,422	4,734	7,000	22	県庁、南部・西部総合県民局において、県民相談を行っている。なお、平成20年度は、前年度まで徳島・川島・鳴門の各財務事務所に設置していた県民サービスセンターが県庁に集約されたことに伴い、件数の減少が見られる。	1事業	百万円以上
10	オープンとくしまe-モニターアンケート制度	件	8	17	7	10	12	10	22	インターネットを活用した県政アンケート調査を16年度から実施している。	1事業	百万円未満

「オンリーワン徳島行動計画(第二幕)」目標水準・数値目標 進捗状況 一覧表

※印は21年度版で上方修正

番号	指 標 名	単位	現況値		<参考> 実績値 (18年度)	<参考> 実績値 (19年度)	実績値 (20年度)	目標値	年度	進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
			年度	年度	年度	年度	年度	事業数			H21 事業費	
<b>1-3 公正で公平な県政づくり</b>												
11	入札・契約制度改革のための「全国知事会提案指針」の実現		-	17	-	推進	実現	実現	20	平成20年度入札制度において一般競争入札を1千万円以上に拡大し、総合評価落札方式を2千万円以上の委託業務に拡大する等の改革を実施。指針の内容をほぼ実現した入札制度となっている。		
<b>1-4 共感と協働による地域づくり</b>												
12	「とくしま県民活動プラザ」サテライト・オフィスの設置	箇所	-	17	-	検討	1	2	21	「とくしま県民活動プラザ」サテライト・オフィスの南部については、20年に設置済み。21年度は、西部における設置に向けて準備を進めている。	1事業	百万円未満
13	「とくしまNPOシンクタンク」の創設		-	17	-	創設	推進	創設	19	19年10月に創設し、目標を達成した。	<del>1事業</del>	<del>百万円以上</del>
14	「とくしま県民活動プラザ」利用者数	人	29,292	17	28,350	34,738	34,670	32,000	22	NPO・ボランティアなど社会貢献活動の総合的な支援拠点として、県民の間に浸透している。	<del>3事業</del>	<del>一千万円以上</del>
15	NPO法人数	団体	64	15	189	214	237	260	22	NPO法人制度の周知等により、NPO法人数は順調に増加している。	<del>3事業</del>	<del>一千万円以上</del>
16	NPO法人の事務所がない市町村数	市町村	5	17	2	1	1	0	22	NPO法人制度の周知等により、NPO法人は全県的な広がりを見せている。	<del>3事業</del>	<del>一千万円以上</del>
17	ボランティア・アドプト登録人口	人	135,238	17	136,081	139,289	142,936	140,000	22	社会貢献活動への参加形態の多様性により伸び幅は大きくないものの、着実に増加している。	<del>3事業</del>	<del>一千万円以上</del>
18	貸しデスク登録ボランティア団体数	団体	-	17	-	4	4	4	22	19年度から実施しているが、4団体が登録し順調に推移している。	<del>1事業</del>	<del>百万円以上</del>
19	社会貢献活動団体等との協働事業数	事業	24	17	31	7	27	30	22	協働推進モデル創出事業等により、NPO等との協働事業を実施している。なお、平成20年度からは、とくしま「トクトク」事業のうちの「県民との協働推進事業」を行い、協働事業を拡大し、全庁的に取り組んでいる。	1事業	百万円以上
20	アドプト参加団体数	団体	475	17	540	701	809	※570	22	アドプトプログラムの周知等により、これまで参加団体数は順調に増加してきている。	1事業	百万円未満
21	農家との協働による農業農村整備事業数(累計)	地区	11	17	13	15	16	18	22	平成20年度は、新たに農家との協働により農業農村整備事業1地区(累計16地区)に着手した。	1事業	百万円以上
22	県庁におけるインターンシップ大学生の受入数(累計)	人	127	17	179	237	303	※360	22	制度の周知や大学との連携に努めた結果、20年度は県庁の各部局において66名を受け入れた。		

「オンリーワン徳島行動計画(第二幕)」目標水準・数値目標 進捗状況 一覧表

※印は21年度版で上方修正

番号	指標名	単位	現況値		<参考> 実績値 (18年度)	<参考> 実績値 (19年度)	実績値 (20年度)	目標値	年度	進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
			年度	年度	年度	年度	年度	事業数			H21事業費	
<b>1-5 地方分権とくしまづくり</b>												
23	国への政策提言数(ジャパンスタンダード) (累計)	件	21	17	49	88	151	※150	22	20年度は、5月要望として、56項目の施策提言を行うとともに、「原油価格高騰対策」、「世界的な金融危機対策」、「追加経済対策」など7件の緊急提言を行った。		
24	パッケージ単位での権限移譲を受けた市町村数	市町村	—	17	18	20	22	全市町村	22	20年度には、石井町と北島町が新たに受け入れを行った。	1事業	一千万円以上
<b>1-6 行財政の構造改革の推進</b>												
25	とくしま未来創造プランの策定・推進		—	17	—	策定・推進	推進	策定	19	平成19年11月に策定した「とくしま未来創造プラン」に基づき、全庁あげた行財政改革の取り組みを推進している。		
26	県出先機関数	機関	82	15	47	44	30	35	21	平成20年度の東部圏域の組織再編により、出先機関の再編整備が完了(出先機関数(H21)31機関)。		
27	全庁的な業務改善の取り組み項目数		—	—	—	設置・推進	12	30	22	平成20年2月に庁内組織である「働きやすい職場づくり推進委員会」を設置し、業務改善の全庁的な取組を推進している。		
28	職員数の削減(H19年4月~H23年4月) (一般行政部門職員)	人	—	17	66	76	131	200人以上削減	22	平成19年4月1日から平成21年4月1日までの間に、一般行政部門職員数215名の削減を行っている。		
29	職員給与の見直し		—	17	—	職員給与の 臨時的削減	職員給与の 臨時的削減	実施	22	本県財政の健全化に資するため、特別職の給与カット、職員給与の臨時的削減等に取り組んでいる。		
30	東部圏域の組織再編		—	17	あり方を 検討	組織検討 開設準備	再編完了	再編完了	20	平成20年度の東部圏域の組織再編により、「出先機関再編整備計画」に基づく再編が完了。		
31	農林水産総合技術支援センターのPFI手法 による再編・新拠点整備【再掲】		—	17	—	調査	プラン策定	整備予定	22	「再編整備実施プラン策定事業」を実施した。	1事業	一千万円以上
32	県の外郭団体の見直し対象団体数	団体	39	16	34	30	30	32	21	各団体毎に策定した「経営改善計画(問題解決プラン)」の進行管理を行うとともに、適時適切な助言を行うなど外郭団体の見直しを推進している。		
33	県の外郭団体の組織の見直し (H16/H21)		—	—	役員△6% 職員△19%	役員△16% 職員△27%	—	役員数△10% 職員数△20%	21	※外郭団体の組織の見直し(役員・職員)・県の関与状況の見直し(補助金・委託金)のH20実績については、H21年夏頃に判明		
34	県の外郭団体の県の関与状況の見直し (H16/H21)		—	—	補助金24% 委託金△38%	補助金△ 7% 委託金△ 40%	—	補助金△30% 委託金△40%	21			

「オンリーワン徳島行動計画(第二幕)」目標水準・数値目標 進捗状況 一覧表

※印は21年度版で上方修正

番号	指標名	単位	現況値	年度	＜参考＞ 実績値 (18年度)	＜参考＞ 実績値 (19年度)	実績値 (20年度)	目標値	年度	進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
											事業数	H21 事業費
35	県の外郭団体の公益法人制度改革の導入		—		情報収集	情報収集	導入・推進	導入	20	20年12月の新制度導入に伴い、外郭団体の公益認定に向けた取り組みを推進している。		
36	公の施設数	施設	89	16	67	64	63	63	21	指定管理者制度の導入に伴い、公の施設の見直しに取り組んでいる。		
37	市場化テスト等の導入検討 (既存公共施設の改修等にPFI導入)	施設	—	17	0	1	1	2	22	青少年センターについて、PFIを活用した改築事業に取り組んでいる。		
38	ネーミングライツの導入	施設	—	17	3	3	4	5	22	20年5月から新たに1施設にネーミングライツ制度の導入を行うとともに、県立施設への更なる導入推進に取り組んでいる。		
39	政策評価の改善見直し事業の割合	%	50	17	49	73	78	75	22	徹底的な見直しと、より一層の選択と集中の視点をもって改善・見直しに取り組んだ結果、目標数値を達成した。平成21年度以降も不断の見直しを行う。	1事業	百万円未満
40	条例の年間改廃制定数	本	58	15	58	68	74	116	22	制度改正に着実に対応するとともに、現行条例が有効に機能しているか否かの観点から要廃止条例及び要改正条例の全庁流出調査に着手した。		
41	耐震リニューアル施設数(累計)	施設	7	17	16	20	27	38	22	年次毎の工程表に基づいて、計画的に推進している。		
42	財政中期展望の改定		策定・公表	15	—	改定・公表	—	改定	19	平成19年10月に改定・公表		
43	財政改革基本方針の策定		策定・公表	16	—	策定・推進	推進	策定・推進	19	平成19年10月に「財政構造改革基本方針」を策定・公表		
44	県債残高の減少		—		9,613億円	9,548億円	約9,385億円	H20までに減少に転じる	20	長年にわたり累増してきた県債残高が、H19末に初の減少に転じた。H20末は、更に100億円程度押し下げ、2年連続での減少を達成するべく財政構造改革を継続する。		
45	公債費(対前年のび)		—		867億円 (当初予算)	913億円 (当初予算)	918億円 (当初予算)	H22までに0に近づける	22	公債費を減少させるために、そのピークをH20に前倒しすべく、財政構造改革を継続する。		
46	新公会計制度による新たなバランスシートなどの財務諸表の整備						策定・公表	20年度決算から整備	21	1年前倒しし、平成19年度決算から整備する。		

「オンリーワン徳島行動計画(第二幕)」目標水準・数値目標 進捗状況 一覧表

※印は21年度版で上方修正

番号	指標名	単位	現況値	年度	＜参考＞ 実績値 (18年度)	＜参考＞ 実績値 (19年度)	実績値 (20年度)	目標値	年度	進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
											事業数	H21事業費
<b>1-7 人権尊重とくしまづくり</b>												
47	「人権教育啓発推進センター」事業参加者・利用者数	人	—	17	—	14,484	15,393	12,000	22	徳島県立人権教育啓発推進センター「あいぼーと徳島」の事業として、人権フェスティバル・人権講座・展示事業や人権相談事業を実施し、県民の人権教育啓発事業への参加を促進するとともに「あいぼーと徳島」の利用を促進した。	1事業	百万円未満
48	「徳島県人権教育・啓発に関する基本計画」の推進		—	17	推進	推進	推進	推進	19 ～ 22	平成16年度に策定した「徳島県人権教育・啓発に関する基本計画」に基づき、人権教育・啓発に関する施策を総合的かつ計画的に推進した。	3事業	一千万円以上
49	人権教育の推進と具体実践化		—		推進・実践	推進・実践	推進・実践	推進・実践	19 ～ 22	文部科学省より公表された「人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕」の活用促進を図り、推進方針に基づく人権教育を推進した。	1事業	百万円以上
50	人権教育啓発推進センターの開設		—	17	整備	開設	推進	開設	19	人権教育・啓発推進の中心的役割を果たす拠点である徳島県立人権教育啓発推進センター「あいぼーと徳島」を開設し、人権教育啓発に関する事業を実施した。		
<b>基本目標2「経済飛躍とくしま」の実現</b>												
<b>2-1 経済飛躍とくしま体制づくり</b>												
51	「LEDバレイ推進ファンド」の創設・造成額	億円	—	17	—	40	—	40	19	4.0億円のファンドを造成し、その運用益により、LED関連企業等を支援した。		
52	「経済飛躍のためのファンド」への増設	億円	40	19	—	40	125	※100	20	4.0億円の「LEDバレイ推進ファンド」を、総額12.5億円の「とくしま経済飛躍ファンド」に増設し、地域資源を活用した産業創造などを推進した。		
53	「徳島県経済飛躍のための中小企業の振興に関する条例」の制定・推進		—	18	—	制定	推進	制定	19	平成20年3月に制定した条例に基づき、「頑張る中小企業者」の支援施策を推進した。		
54	「徳島県農林水産業振興条例(仮称)」の制定・推進						制定	制定	20	条例制定検討委員会の開催、パブコメの実施を行い、農林水産業の発展や農山漁村の活性化に資する「徳島県食料・農林水産業・農山漁村基本条例」を制定した。 パンフレットの配布し周知を図った。		

「オンリーワン徳島行動計画(第二幕)」目標水準・数値目標 進捗状況 一覧表

※印は21年度版で上方修正

番号	指標名	単位	現況値		＜参考＞ 実績値 (18年度)	＜参考＞ 実績値 (19年度)	実績値 (20年度)	目標値		進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
			年度	年度				年度	年度		事業数	H21 事業費
55	経済成長戦略アドバイザーの設置		—		—	設置	拡充	設置	19	20年度には「徳島県経済成長戦略アドバイザー」として新たに3名を委嘱し、「経済飛躍とくしま」の実現に向けた貴重な提言をいただいた。	1事業	百万円以上
56	農業協同組合数	組合	18	17	16	16	16	1	22	県農業協同組合中央会と連携を強化しながら、組合長ヒアリング等を通して、合併に向けた環境整備を行った。	1事業	一億円以上
57	森林組合数	組合	13	17	12	11	11	5	22	森林組合の広域合併に向け、徳島北地区で研究会を立ち上げ、3組合の合併が検討されている。	1事業	一億円以上
58	漁業協同組合数（沿海）	組合	35	17	35	35	35	1	19	当初目標の「平成20年1月1日に一県一漁協体制を確立する」ことは見送られたが、合併による組織強化は欠かせないという基本認識は一致しており、引き続き合併等の組織強化に向けた取り組みを支援していく。	1事業	百万円以上
59	認定農業者数	経営体	1,422	17	2,121	2,539	2,650	2,800	22	各市町村に設置した担い手育成総合支援協議会を核に育成活動を実施した。	1事業	百万円以上
60	農業法人数	経営体	123	17	124	139	145	150	22	各市町村に設置した担い手育成総合支援協議会を核に育成活動を実施した。	1事業	百万円以上
61	新規就農者数（累計）	人	48	17	108	202	295	350	22	農業人フェアなどの様々な機会を通じ、就農相談を実施した。7カ所のカフェの講座内容の充実を図った。	1事業	百万円以上
62	新規漁業就業者数（累計）	人	22	17	38	49	73	150	22	就業希望者と受け入れ機関となる漁業協同組合とのマッチングに取り組んだ。	2事業	百万円以上
63	農林水産総合技術支援センターの再編・新拠点整備		—	17	—	調査	プラン策定	整備予定	22	「再編整備実施プラン策定事業」を実施した。	1事業	一千万円以上
64	徳島県の輸出入総額 （小松島税関支署管内通関額）	百万円	101,105	17	109,860	135,516	169,144	130,000	22	本県貿易の一層の振興を図るため、国際ビジネスに関する人材育成、海外との産業交流等に取り組んだ。	2事業	一千万円以上
65	「ハノーバー・メッセ」への徳島ブースの 出展		—	19	—	—	出展	出展	20	世界最大の産業技術総合見本市「ハノーバー・メッセ」に徳島ブースを出展し、県内企業の海外販路開拓を支援した。		



「オンリーワン徳島行動計画(第二幕)」目標水準・数値目標 進捗状況 一覧表

※印は21年度版で上方修正

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	<参考> 実績値 (19年度)	実績値 (20年度)	目標値	年度	進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
											事業数	H21事業費
66	「徳島県科学技術振興計画」の策定		—	19	—	—	策定	策定	20	本県における科学技術施策の推進に向け、将来像や振興策を明らかにするため、「徳島県科学技術振興計画」を策定した。		
67	中小企業向け融資制度融資件数	件	4,024	17	3,694	3,306	4,343	6,000	22	経済情勢に対応して、融資条件の緩和等、中小企業者の資金繰りの円滑化に努めた結果、平成20年度については、利用件数が増加に転じた。	<del>2事業</del>	<del>一億円以上</del>
68	四国横断自動車道(鳴門～徳島)の整備用地取得率【再掲】	%	14	17	63	95	98	100	22	順調に用地取得を推進した。	1事業	一千万円以上
69	徳島小松島港赤石地区における貨物取扱量【再掲】	万トン	120	17	113	121	—	200	22	内質埠頭の早期供用に向けて用地造成を推進。実績は翌々年度6月頃に確定する見込み。		
70	徳島飛行場の拡張【再掲】		整備中	17	整備中	整備中	整備中	供用	22	平成22年度供用に向けて事業促進。平成20年度から滑走路等の舗装工事に着手。平成21年度工事完成の予定。		
71	長安ロダムの改造【再掲】				—	事業着手	整備促進	事業着手	19	那賀川の治水・利水安全度の向上を図るため、平成19年度から国直轄事業として長安ロダム改造に事業着手し、平成20年度は堆積土砂の除去等を実施。		
2-2 ビジネスチャンス増大プロジェクトの推進												
72	県内企業への優先発注率(件数)	割合	—	17	89.4	90.4	—	9割	22	「県内企業優先発注及び県内産資材の優先使用のための実施指針」に基づく取り組みの結果、平成19年度実績は、90.4%と目標値である「9割」を達成した。目標値達成を確かなものにするよう、引き続き取り組みを強化する。平成20年度実績は21年秋頃に判明予定。		
73	とくしま経営塾「平成長久館」階層別受講者数(経営者研修)(累計)	人	—	17	826	1,522	2,291	※2,100	22	とくしま経営塾「平成長久館」事業として経営者向け研修を実施し、受講者数は順調に増加している。	1事業	一千万円以上
74	とくしま経営塾「平成長久館」階層別受講者数(社内リーダー養成研修)(累計)	人	—	17	725	1,232	1,984	※2,100	22	とくしま経営塾「平成長久館」事業として社内リーダー養成研修を実施し、受講者は順調に増加している。	1事業	一千万円以上

「オンリーワン徳島行動計画(第二幕)」目標水準・数値目標 進捗状況 一覧表

※印は21年度版で上方修正

番号	指 標 名	単位	現況値		<参考> 実績値 (18年度)	<参考> 実績値 (19年度)	実績値 (20年度)	目標値	年度	進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
			年度	年度							事業数	H21事業費
75	「徳島県経営品質賞」応募等企業数	社	3	17	6	7	10	10	22	「経営品質プログラム」の考え方は徐々に浸透しつつあり、品質賞等への応募も増加している。	1事業	百万円以上
76	改善エキスパート認定人数(累計)	人	25	17	43	52	57	80	22	「改善エキスパート」認定制度について、認知度が高まってきており、認定数も順調に推移している。	1事業	百万円未満
77	eコマースサイト(中小企業支援機関の運営)への出店企業数(累計)	社	—	17	22	54	67	100	22	eコマース(電子商取引)サイト「AWAとくしま」を運営し、県内企業の電子商取引促進に取り組んだ。出店企業数は、順調に増加している。	1事業	百万円未満
78	「事業継続計画」(BCP)作成事業所数(累計)	事業所	—	17	6	8	12	30	22	策定済みに至らないまでも、BCP策定に取り組む事業所は増加しており、引き続き県内企業のBCP策定の推進に努める。(策定中:24事業所)	1事業	百万円以上
79	「地震防災対策資金」融資件数(累計)	件	—	17	1	2	2	20	22	PRちらしを作成し、企業防災フォーラム等において周知を図っている。	2事業	一億円以上
80	「建設業新分野進出支援資金(地域産業新事業展開支援資金)」融資件数(累計)	件	1	17	5	8	11	30	22	平成20年度には「建設業新分野進出支援資金」から「地域産業新事業展開支援資金」として対象及び利用条件を拡大するとともに、PRに取り組んでいる。	2事業	一億円以上
81	セミナーや支援制度説明会等の参加者数(年間)	人	221	17	199	1,747	1,059	1,000	22	経営体質強化、技術力向上、新分野進出などを支援するためのセミナーや支援制度を周知するための説明会等を開催。	1事業	百万円以上
82	情報提供基盤「とくしま建設業支援情報板」の整備		—	17	—	—	整備	整備	20	建設産業の再生支援に関する情報を集めたホームページ「とくしま建設業支援情報板」を平成20年6月に開設。		
<b>2-3時代を先取るとくしま産業づくり</b>												
83	LED関連企業数(累計)	社	10	17	25	38	59	100	22	LEDバレイ構想行動計画に基づき、中小企業が取り組む新製品開発、研究開発、販路開拓等を支援するなど、各種施策を総合的に実施したことにより、59社となった。	1事業	千万円以上

「オンリーワン徳島行動計画(第二幕)」目標水準・数値目標 進捗状況 一覧表

※印は21年度版で上方修正

番号	指標名	単位	現況値		<参考> 実績値 (18年度)	<参考> 実績値 (19年度)	実績値 (20年度)	目標値	年度	進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
			年度	年度							事業数	H21事業費
84	「農工連携事業」による商品開発事業数 (累計)	件	—	17	—	6	11	※10	22	本県の強みである地域資源(農林水産品)を活用した新商品開発支援、経営革新支援などを行うとともに、豊富で多様かつ品質に優れ、安全な農林畜水産物と中小企業が有する高いものづくり技術とが連携した農工連携事業を推進した。		
85	LED応用製品の研究開発参画企業数 (累計)	件	7	17	12	18	25	32	22	LED関連製品開発可能性調査事業において新たに7件を採択し、技術支援を行ったことにより、25件(累計)となった。	1事業	一千万円以上
86	「LEDパレイ推進ファンド」の造成額 【再掲】	億円	—	17	—	40	—	40	19	40億円のファンドの運用益を活用し、LEDを利用した新商品開発、販路開拓など中小企業の先進的な取り組みを支援した。		
87	LEDを利用した「光の八十八ヶ所」の認定 箇所数(累計)	ヶ所	—	18	—	13	22	88	22	LEDを利用した光の名所を「光の八十八ヶ所」として認定するとともに、光の八十八ヶ所の一環事業として、期間限定によるLED冬のイルミネーションを募集し、46ヶ所のスポットをホームページなどにより紹介し、LED王国・徳島のブランド化を促進した。	1事業	一千万円以上
88	車両用信号灯器のうちLED式信号灯器の割合	%	17	17	22	27	32	35	22	約400灯を計画的に整備した。	1事業	一億円以上
89	「JSTイノベーションサテライト徳島」を利用した研究資金の採択件数(累計)	件	—	17	2	4	6	10	22	目標値どおり、産学官連携による研究開発を促進した。		
90	競争的研究開発資金の新規事業採択件数 (累計)	件	—	17	3	4	5	7	22	地域イノベーション創出開発研究事業の平成20年度新規事業として1件採択された。	2事業	一千万円以上
91	水産業と商工業が連携した見本市開催回数 (年間)	回	—	17	0	1	1	2	22	平成20年8月に水産ブランドの京浜圏における新たな販路を開拓するため、漁協と築地市場関係者との連携を促す「とくしまブランドPR会 in築地市場」を開催した。	2事業	百万円以上
92	漁業協同組合・商工業者連携ブランド協議会 数	協議会	—	17	0	1	3	5	22	県産ハモの消費拡大と認知度向上を図るため、20年7月に生産者団体と市場関係者、旅館・料理業関係の方々等が連携し新たに「徳島の活鱈ブランド確立対策協議会」を組織し、指定料理店の登録を実施した。また、漁協と卸売業者や加工業者が連携し「鳴門鯛」のブランド化やハモの加工品開発に取り組んだ。	2事業	百万円以上

「オンリーワン徳島行動計画(第二幕)」目標水準・数値目標 進捗状況 一覧表

※印は21年度版で上方修正

番号	指標名	単位	現況値		<参考> 実績値 (18年度)	<参考> 実績値 (19年度)	実績値 (20年度)	目標値	年度	進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
			年度	年度							事業数	H21事業費
<b>2-4 創業いきいき産業づくり</b>												
93	新規創業者等の事業計画認定件数(累計)	件	—	17	—	17	39	150	22	県内創業者に対して各種支援を行う制度を創設した。今後も様々な業種や規模の創業を奨励し支援する。	1事業	一千万円以上
94	バイオマス利活用モデル地区数(累計)	地区	—	17	1	3	7	15	22	三好市で「バイオマスタウン構想」、阿南市で「次世代エネルギーパーク構想」、上板町で「地域新エネルギー・省エネルギービジョン」が策定された。		ゼロ予算事業
95	創業に関する講座の受講者数(累計)	人	—	17	502	883	1,365	※1,200	22	幅広い年齢層を対象とした創業に関する講座を開催した。今後も創業の促進に努める。	1事業	一千万円以上
96	投資事業有限責任組合による投資企業数(累計)	社	3	17	5	8	8	10	22	有望な技術等を持つベンチャー企業等に投資を行うことにより、企業の資金需要に対応している。投資先の企業には株式上場に向けた経営支援等を行い、必要に応じて追加投資を実施している。		
97	創業を目指す者に対する新規融資件数(累計)	件	87	17	200	274	329	500	22	順調に利用されており、今後も様々な業種の創業を支援する。	<del>2事業</del>	<del>一億円以上</del>
98	「徳島のSOHO事業者サイト」登録事業者数(累計)	社	33	17	48	57	59	70	22	セミナーの開催やSOHO総合支援サイトの運営等によりSOHO事業者を総合的に支援した。登録事業者数は、順調に増加している。	1事業	一千万円以上
99	「お試し発注制度」による発注事業所数(累計)	事業所	18	17	28	36	41	※40	22	お試し発注制度を改正した。数値は順調に増加している。	1事業	百万円以上
100	経営革新承認件数(累計)	件	151	17	198	224	254	300	22	次代のオンリーワンを目指して経営革新に取り組む県内中小企業を広く支援した。数値は順調に増加している。	1事業	百万円以上
101	あったかコンペ「平成藍大市」の開催		—	19	—	—	開催	開催	20~	県の認定等を受けた地域密着型の小規模事業者の事業成果を評価・顕彰する県民参加型のコンペを開催した。	1事業	百万円以上

「オンリーワン徳島行動計画(第二幕)」目標水準・数値目標 進捗状況 一覧表

※印は21年度版で上方修正

番号	指標名	単位	現況値	年度	＜参考＞ 実績値 (18年度)	＜参考＞ 実績値 (19年度)	実績値 (20年度)	目標値	年度	進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
											事業数	H21事業費
102	「脱石油」実証実験の取り組み数（累計）	件	—	17	0	2	8	10	22	石油から他のエネルギーへの転換に向け、しいたけ栽培においてヒートポンプを導入した。また、トマト等の栽培において燃油使用量を低減するための多重被覆や循環扇等、鶏舎において断熱技術を導入した。	1事業	一千万円以上
2-5 新たな雇用と働きやすさとくしまづくり												
103	徳島県有効求人倍率（年平均）	倍	0.80	17	0.92	0.89	0.80	1.00	22	20年度実績（平成20年平均）は前年度実績（平成19年平均）より下降し、雇用失業情勢は厳しい状況にある。今後、緊急雇用対策の推進に努める。		
104	「コールセンター」等情報通信関連産業の新規雇用者数（累計）	人	—	15	500	600	620	1,000人以上	22	積極的な企業訪問や情報通信関連事業立地促進補助制度の情報発信などにより、県外企業の誘致等を促進し、新たに4企業を奨励指定し、累計9企業になった。	1事業	一億円以上
105	働きやすい職場づくり支援アドバイザー派遣件数（累計）	件	—	17	—	30	62	120	22	派遣の増加を図るため事業の広報に努めた。	1事業	百万円未満
106	「障害者雇用促進憲章」（又は条例）の制定				—	制定	—	制定	19	平成19年12月に「とくしま障害者雇用促進憲章」を制定し、目標を達成した。		
107	民間企業の障害者雇用率	%	1.41	17	1.33	1.49	1.53	法定雇用率以上	22	20年度実績（平成20年6月1日現在）は法定雇用率1.80%を下回っているものの、労働局など関係機関と連携し、障害者雇用を促進するための啓発活動や障害者の職業能力開発に向けた訓練等を実施したことにより、前年度より0.04ポイント上昇した。	3事業	一千万円以上
108	企業立地優遇制度適用指定企業（累計）	社	21	17	25	28	31	35	22	企業誘致フォーラムの開催や積極的な企業訪問などにより県外企業の誘致等を促進し、新たに3企業を奨励指定し、累計31社になった。	1事業	一億円以上
109	介護保険サービス従事者（居宅）等増加数（累計）	人	—	17	264	400	840	800	19 ~ 22	市町村と連携しながら、介護サービス事業者への適正な指導に努めており、順調に従事者数は増加している。		

「オンリーワン徳島行動計画(第二幕)」目標水準・数値目標 進捗状況 一覧表

※印は21年度版で上方修正

番号	指標名	単位	現況値		<参考> 実績値 (18年度)	<参考> 実績値 (19年度)	実績値 (20年度)	目標値	年度	進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
			年度	年度							事業数	H21 事業費
110	徳島県若年者就職サポートセンターを活用した就職件数(累計)	人	829	17	1,396	1,929	2,415	3,000	22	徳島公共職業安定所学生職業相談コーナーを併設し、職業相談から職業紹介までの雇用関連サービスを1箇所で開催していることから、就職件数は順調に推移している。	1事業	一千万円以上
111	徳島県若者サポートステーションにおける相談件数(累計)	件	—	17	411	1,242	2,328	※2,000	20	キャリアコンサルタントなど専門家によるきめ細やかな相談を実施していることから、相談件数は順調に推移している。	1事業	百万円以上
112	徳島県就労支援プラザを活用した就職件数(累計)	人	154	17	220	279	341	470	22	リターン等希望者や中高年齢者に対する求人情報の提供やきめ細やかな職業相談を実施しているが、中高年齢者の雇用情勢が厳しいこともあり、今後、より一層のきめ細やかな職業相談等により就職件数の増加に努める。	1事業	一千万円以上
113	緑の研修生の定着数	人	—	17	—	8	23	※30	22	順調に定着しているが、緑の研修生制度を活用できる林業事業体を積極的に増加させ、H21から、さらに多くの定着を図る。	2事業	百万円以上
114	自立支援プログラムを活用した就職件数(累計)	人	—	17	35	81	110	110	22	母子家庭の母等に対して、技能や資格を修得するための講習会や母子自立支援プログラムの策定を実施し、就労を支援した。	1事業	一千万円以上
<b>2-6 新鮮とくしまブランド戦略の展開</b>												
115	「とくしまブランド」輸出品目数(累計)	品目	1	17	2	3	3	10	22	東アジアにおいて「なると金時」や「鳴門わかめ」、「タチウオ」が定着。	1事業	百万円未満
116	「阿波尾鶏」出荷羽数	万羽	199	17	214	225	223	300	22	平成20年度は非常に厳しい生産環境のなか、出荷羽数が維持できた。引き続き目標達成に向け取組みを推進する。	1事業	一千万円以上
117	農林水産物ブランド品目飛躍数	品目	4	17	12	12	12	36	22	「新鮮 なっ!とくしま」号の展開により「徳島ならではの」PRを実施した。(「ブランド品目」の選定は、平成22年度に実施予定)	2事業	一千万円以上

「オンリーワン徳島行動計画(第二幕)」目標水準・数値目標 進捗状況 一覧表

※印は21年度版で上方修正

番号	指標名	単位	現況値		<参考> 実績値 (18年度)	<参考> 実績値 (19年度)	実績値 (20年度)	目標値	年度	進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
			年度	年度							事業数	H21事業費
118	県外における「とくしまブランド」協力店数	店舗	—	17	0	14	21	30	22	京阪神、京浜、中京地域で登録を行い、さらに拡大を図った。 「新鮮なとくしまフェア」の開催や、販売資材の支援により県産農林水産物の販売促進につなげた。	2事業	百万円以上
119	「とくしまブランド」輸出拠点数	箇所	1	17	1	2	3	5	22	「台湾」、「韓国」及び「タイ」で本県農林水産物が定着。	1事業	百万円未満
120	園芸品目の産出額	億円	663	17	650	651	—	700	22	「ブランド産地強化計画」の作成及び、その目標を達成するための取り組みを支援した。(ブランド産地の強化：H20年度ハード33箇所、ソフト13箇所 県域課題の解決：2団体) (平成20年度実績は、22年度未判明)	3事業	一億円以上
121	「オンリーワン畜産新ブランド」の作出				—	開発中	開発中	1ブランド 作出	22	「畜産新ブランド」の作出のため、試験研究機関で研究開発を進めている。	1事業	百万円以上
122	漁業生産額(海面)	億円	140	17	148	148	—	148	22	生産額の上昇に繋がる単価のアップを図るべく、「徳島の活産ブランド確立集中キャンペーン」や「新鮮なっ!とくしま号」によるPR等のブランド化施策を実施。平成20年度実績は、22年3月頃に判明。	1事業	百万円以上
123	「ブランド農林水産物」の新技術開発数(累計)	件	8	17	9	10	14	※17	22	たらのめ新品種等を確立し、新ブランド創出の基とした。	1事業	百万円以上
124	実用化した新技術数(累計)	件	—	17	0	3	4	12	22	普及課題として位置づけた「県西部におけるたらのめ新品種の導入」等3課題のほか、プロッコリーのスーパーセル苗について、県南地域において導入面積が拡大する等、生産現場において実用化されている。	1事業	百万円以上
125	「手入れ砂代替技術」導入戸数(累計)	戸	44	17	64	140	194	500	22	導入効果を生産者等にPRし、目標達成にむけて引き続き推進する。	1事業	百万円未満
126	基幹用水路の整備延長	km	34	17	39	45	50	60	22	平成20年度は板野町・藍住町等で5.0km及び阿南市で0.9kmの計5.9kmの基幹用水路の整備が行われた。		

「オンリーワン徳島行動計画(第二幕)」目標水準・数値目標 進捗状況 一覧表

※印は21年度版で上方修正

番号	指標名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	<参考> 実績値 (19年度)	実績値 (20年度)	目標値	年度	進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
											事業数	H21事業費
127	ほ場の整備率	%	63	17	63	65	66	66	22	平成20年度はパイプラインや区画整理により52haのほ場の整備が行われた。	1事業	一億円以上
128	徳島県が関係する資源回復計画数	計画	1	17	1	2	2	2	22	平成20年3月に策定した「徳島県紀伊水道海域小型機船底びき網漁業包括的資源回復計画」の確実な実行を図るため、4月に関係漁業者と共に市場関係者に対する協力要請を行った。	2事業	百万円以上
<b>2-7 林業飛躍プロジェクトの推進</b>												
129	間伐材の搬出材積量	千m <sup>3</sup>	34	17	61	68	84	100	22	H20に間伐促進法が制定され、間伐を強力に推進する体制となっており、目標のとおり達成見込である。	<del>2事業</del>	<del>一億円以上</del>
130	「森のエキスパート（高能率間伐材搬出技術者）」育成者数（累計）	人	54	17	84	94	104	120	22	新たに3事業体に高性能林業機械が導入され、このオペレーター等に研修を実施し、新たに10名を養成した。	2事業	一千万円以上
131	林内路網開設延長（累計）	km	5,426	17	5,577	5,756	5,889	※5,900	22	平成20年度は、林道17km、作業道116kmの合計133kmの開設を行った。	<del>3事業</del>	<del>一億円以上</del>
132	高性能林業機械導入数（累計）	セット	9	17	15	18	21	30	22	間伐材生産の低コスト化に必要であるため、導入する組合等に国庫補助及び県の補助を引き続き行っている。	2事業	一千万円以上
133	「県産木造住宅供給システム」による建築戸数	戸	127	17	148	139	156	150	22	県内外での展示会、セミナーを開催し、県産木造住宅の普及と需要拡大を図った結果、建築戸数の増加が図られた。	1事業	一千万円以上
134	公共事業での県産木材使用量	m <sup>3</sup>	7,501	17	8,813	10,015	8,765	8,000	22	公共事業予算が減少する中、前年度より使用量も減少したが、木材利用推進連絡協議会の開催など公共施設・工事等での木材利用の要請に努めた結果、目標値を上回ることができた。	1事業	一千万円以上
135	「徳島県木材認証制度」登録事業所数	事業所	—	17	142	165	168	200	22	制度のPRと事業所指導を実施するとともに、認証木材を利用した住宅への低利融資制度を実施するなど、制度の普及を進めた。		
136	木質バイオマス利用実施例（累計）	件	9	17	11	11	11	14	22	平成20年度は協議会の実施などを通して業界への普及を図ってきたが、今後も導入に向けた働きかけを推進していく予定。		



「オンリーワン徳島行動計画(第二幕)」目標水準・数値目標 進捗状況 一覧表

※印は21年度版で上方修正

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	<参考> 実績値 (19年度)	実績値 (20年度)	目標値	年度	進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
											事業数	H21事業費
<b>基本目標3「環境首都とくしま」の実現</b>												
<b>3-1 環境首都とくしま体制づくり</b>												
137	「環境首都とくしま創造センター」の開設		—	17	—	検討	検討	開設	21	21年度内の開設に向けて、検討を行った。		
138	「とくしま地球温暖化対策推進条例（仮称）」の制定		—	17	—	検討	制定	制定	20	「徳島県地球温暖化対策推進条例」を平成20年10月に制定した。		
139	「環境首都とくしま憲章」の県民への浸透度	%	63.7	17	69.6	63.6	69.7	100	22	「環境首都とくしま憲章」の普及やこれに基づく自発的な取り組みを促進した。		
140	「とくしま環境学習サポートセンター（仮称）」の開設				—	検討	検討	開設	21	21年度までの開設に向けて、検討を行った。		
141	環境学習の新規実施（累計）	件	—	17	—	4	8	12	22	「とくしま環境学びプラン」に基づく環境教育・環境学習を実施した。	1事業	百万円未満
142	環境アドバイザー派遣件数	件	24	17	36	34	61	45	22	事業者や環境団体に対して、環境アドバイザーを派遣した。	1事業	百万円以上
143	「学校版環境ISO」認証取得校数	校	39	17	78	96	140	200	22	「学校版環境ISO」認証取得を通じて、各学校で環境保全活動を推進した。 認定校数⑩10校、⑪29校、⑬39校、⑭18校、⑯44校	1事業	百万円未満
144	企業の環境に配慮した取り組みを支援する研修受講者数（累計）	人	—	17	82	143	208	260	22	とくしま経営塾「平成長久館」事業としてISO14001に関する研修を実施し、受講者は順調に増加している。	1事業	一千万円以上
145	「地域版とくしま環境県民会議」の設置数	箇所	—	17	—	0	1	3	22	設置に向けた取り組みについて、関係団体に働きかけを行った。		
146	とくしま環境科学機構における共同研究数	研究	—	17	3	4	5	5	22	風力発電システムやバイオマスエネルギー等の環境技術に関する研究を行った。	1事業	百万円以上
147	環境マネジメントシステムにおける環境目標の達成率	%	97.8	17	95.9	96.2	—	98	22	環境マネジメントシステムにより環境基本計画を効果的に推進するとともに、環境の視点を取り入れた各種施策の継続的改善を実施した。20年度実績は21年秋頃に判明の予定。		

「オンリーワン徳島行動計画(第二幕)」目標水準・数値目標 進捗状況 一覧表

※印は21年度版で上方修正

番号	指標名	単位	現況値		<参考>実績値		実績値 (20年度)	目標値	年度	進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
			年度	年度	(18年度)	(19年度)					事業数	H21事業費
<b>3-2 地球環境にやさしい社会づくり</b>												
148	温室効果ガス排出量	千t	6,727	2	7,196	-	-	6,054	22	直近のデータである2006年の県内排出量は7,196千tとなっており、温室効果ガス排出量は基準年に比べて増加していることから、地球温暖化対策についてなお一層の取り組みを進める。	3事業	一千万円以上
149	新エネルギーの導入を促進する補助件数(累計)	件	-	17	3	4	4	※6	22	新エネルギー利用地域モデル促進事業により、20年度現在は4件(累計)の補助金交付を行った。	2事業	百万円以上
150	エコドライブなどを奨励する環境に配慮した事業所数	事業所	-	17	14	13	-	20	22	事業所におけるエコドライブや適正冷暖房等の省エネの取り組みを推進した。20年度実績は21年秋頃に判明の予定。		
151	県の事務及び事業に伴い排出される温室効果ガス総排出量				3.6%削減	9.4%削減	-	5%削減 (15年度比)	21	エコオフィスとくしま県率先行動計画(第3次)に基づき、取り組みを実践した。20年度実績は21年秋頃に判明の予定。	1事業	百万円未満
152	地球温暖化防止活動推進員による県民への普及の活動回数	回	277	17	307	245	276	280	22	学校・地域等の活動に推進員を派遣し、地球温暖化防止の啓発に努めた。	1事業	百万円未満
<b>3-3 美しく潤いのあるとくしまづくり</b>												
153	木製(間伐材)ガードレール等の設置延長(累計)	m	2,075	17	2,655	4,007	4,077	5,000	22	今年度、鳴門池田線(美馬市脇町)において70mの木製ガードレールを設置。	1事業	百万円以上
154	汚水処理人口普及率	%	34.3	15	40.7	42.6	-	48	22	きれいな水環境の創造に向け、下水道事業を始め各種施策を推進している。なお、平成20年度末の実績は、21年夏頃に確定する見込み。		
155	徳島県景観形成指針				作業中	策定	策定	策定	19	景観づくりの主体である市町村が景観行政を推進していくよう、平成19年7月31日に徳島県景観形成指針を策定。		
156	景観行政団体数	団体	2	17	3	3	3	8	22	今年度末では、上勝町、三好市、那賀町が景観行政団体として登録済み。		
157	「とくしま風景街道」ルート数	ルート	-	17	0	2	3	※3	22	平成20年11月、「美馬市まほろば夢街道」を登録。		

「オンリーワン徳島行動計画(第二幕)」目標水準・数値目標 進捗状況 一覧表

※印は21年度版で上方修正

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考>	<参考>	実績値 (20年度)	目標値	年度	進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
					実績値 (18年度)	実績値 (19年度)					事業数	H21 事業費
158	電線類を地中化した県管理道路の延長	km	7.0	17	8	8.5	8.5	8.5	22	平成19年度、常三島中島田線(徳島鴨島線)、元町沖洲線において整備が完了し、目標8.5kmを達成。		
159	公共施設緑化実施箇所	箇所	128	17	130	133	136	142	22	今年度、ポカリスエットスタジアム他2箇所の緑化が完了し、目標達成に向け順調に進捗。	1事業	百万円以上
160	公園・緑地等における緑化面積	ha	149	17	151	172	179	181	22	今年度、南部健康運動公園1.6haが追加部分供用開始。	1事業	一億円以上
161	公共下水道による処理人口	人	93,600	17	96,358	97,281	—	115,000	22	流域下水道事業を推進するとともに、市町が実施している公共下水道の早期供用を図っている。なお、平成20年度末の実績は、21年夏頃に確定する見込み。		
162	旧吉野川流域下水道(第1期計画)		整備中	17	整備中	整備中	供用開始	供用開始	20	平成20年度末に一部供用を開始した。	1事業	一億円以上
163	公共下水道を供用している市町村数	市町村	6	17	6	6	12	13	22	新たに旧吉野川流域関連市町(鳴門市、松茂町、北島町、藍住町、板野町)、つるぎ町において供用を開始し、平成20年度末は、4市8町で供用。		
164	農山漁村の生活排水処理施設による処理人口	人	20,219	17	20,414	19,946	—	26,000	22	平成20年度は、美馬市、那賀町、美波町で集落排水事業を推進し、処理場及び末端管路の整備を図った。平成20年度実績は、21年夏頃に判明。	1事業	一億円以上
165	合併処理浄化槽による処理人口	人	194,381	17	207,809	220,525	—	245,000	22	市町村が実施する合併処理浄化槽の整備に対し助成を行った。20年度実績は21年夏頃に確定する見込み。	1事業	一億円以上
166	浄化槽法定検査受検率	%	33.4	17	37.2	37.6	39.0	48.0	22	浄化槽の適正な維持管理を推進するための普及啓発を実施した。	1事業	百万円以上
167	河川の浚渫土量(累計)	m3	77,000	17	80,000	82,000	83,700	88,000	22	正法寺川等の浚渫を1,700m3実施した。	1事業	一千万円以上
168	掃海実施面積(累計)	km2	—	17	29	62	90	100	22	県内4市においてひき網漁船を用いて掃海を実施した。	1事業	百万円以上
<b>3-4 しっかり守るいい生活環境づくり</b>												
169	大気環境基準の達成状況(二酸化窒素)	%	100	17	100	100	100	100	22	テレメータシステム等により大気環境の常時監視を行った。	1事業	百万円以上

「オンリーワン徳島行動計画(第二幕)」目標水準・数値目標 進捗状況 一覧表

※印は21年度版で上方修正

番号	指 標 名	単位	現況値		<参考> 実績値 (18年度)	<参考> 実績値 (19年度)	実績値 (20年度)	目標値	年度	進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
			年度	年度							事業数	H21事業費
170	アイドリングストップ協力店の拡大	店舗	193	17	434	490	780	800	22	小売店舗に協力を求め、アイドリングストップを駐車場利用者に積極的に周知してもらえるアイドリングストップ協力店を拡大した。	1事業	百万円以上
171	大気環境等の工場・事業場等の規制の適合状況	%	100	17	100	100	100	100	22	工場・事業場等に立入調査を実施し、必要に応じ指導を行った。	1事業	百万円以上
172	大気環境中アスベストの評価地点数	地点	11	17	11	13	15	17	22	20年度は定点の9地点と新規2地点(延べ15地点)で測定を実施。	1事業	百万円未満
173	大気移動測定車を活用した大気環境測定調査市町村	市町村	14	17	16	19	21	全市町村	22	20年度は5市町村(延べ21市町村)で測定を実施。	1事業	百万円以上
174	自動車騒音の状況及び対策の効果等を把握するための評価区間	区間	17	17	24	39	59	99	22	20年度は20区間で評価を実施。	1事業	百万円以上
175	化学物質排出自主削減事業所数(累計)	事業所	11	17	25	29	32	35	22	化学物質自主管理促進の結果、徳島県全体としての化学物質排出量は減少傾向にあり、事業者における自主管理が着実に進んでいる。		ゼロ予算事業
176	分析法開発数(累計)	件	—	17	1	3	4	5	22	液体クロマトグラフ質量分析装置による化学物質の分析方法を開発した。	1事業	百万円以上
177	エコファーマー認定数(累計)	人	1,112	17	1,295	1,361	1,459	※1,400	22	生産部会等集団での認定を推進し、目標を達成した。今後も、引き続き推進する。	2事業	百万円以上
178	「徳島県有機農業推進計画(仮称)」の策定						策定	策定	20	環境への負荷の低減を図るため、有機農業の「県推進計画」を策定した。	1事業	百万円以上
179	第6次総量削減計画				—	策定	推進	策定	19	平成19年6月に告示した第6次総量削減計画の達成に向けて、各種発生源への立入調査を実施した。	1事業	百万円未満
<b>3-5とくしま循環の「わ」社会づくり</b>												
180	リサイクル率(一般廃棄物)	%	18.9	17	19.7	—	—	26	22	リサイクル率は順調に向上しており、引き続きリサイクルを推進していく。19年度実績は現在集計中	1事業	百万円未満
181	リサイクル率(産業廃棄物)	%	55	15	—	—	—	59	22	リサイクル率は順調に推移しており、引き続きリサイクルを推進していく。調査は5年に1度行われる。20年度実績は21年度末に判明予定。	1事業	百万円未満

「オンリーワン徳島行動計画(第二幕)」目標水準・数値目標 進捗状況 一覧表

※印は21年度版で上方修正

番号	指標名	単位	現況値	年度	＜参考＞ 実績値 (18年度)	＜参考＞ 実績値 (19年度)	実績値 (20年度)	目標値	年度	進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
											事業数	H21事業費
182	「不法投棄等撲滅啓発リーダー」研修受講者数(累計)	人	—	17	113	216	305	500	22	3ブロック(中央部・南部・西部)合わせて89名が受講。	1事業	百万円以上
183	環境物品等の調達率	%	68%~100%	17	79%~100%	77%~100%	—	100% (全分野)	22	文具類・OA機器をはじめとする17分野において、方針に基づいた調達を実施した。20年度実績は、21年秋頃に判明の予定。		
184	1人1日当たりのごみ排出量	g	1,014	17	1,002	—	—	889	22	ごみを少なくする配慮が浸透しつつある。引き続きごみ発生・排出抑制の普及啓発を推進していく。19年度実績は現在集計中。	1事業	百万円未満
185	使用済み農業用フィルム(各種ビニール類)回収率	%	73.7	17	76.0	77.6	—	85	22	排出者に適正処理についての周知徹底・意識啓発を図った。(20年度実績は21年夏頃に判明)	2事業	百万円以上
186	使用済み農業用フィルム(各種ビニール類)リサイクル率	%	92.1	17	95.3	100.0	—	94	22	排出者、処理事業者のリサイクル意識の向上を図った。(20年度実績は21年夏頃に判明)	2事業	百万円以上
187	農山漁村の生活排水処理施設による緑農地還元率	%	62	17	62	52	—	80	22	美馬市、那賀町で集落排水事業を推進し、施設の整備を図っている。(平成20年度実績は、21年夏頃に確定する見込み)	1事業	一億円以上
188	家畜排せつ物の堆肥化率	%	87	17	89	92	91	97	22	施設整備農家の廃棄により整備率は低下したが、目標達成に向け、家畜排せつ物の処理を簡易な施設で対応している経営体に対し、処理施設整備を推進する。	1事業	百万円以上
189	環境関連産業の立地を促進する貸付金・補助金制度の実施(累計)	件	1	17	1	1	1	2	22	17年度に1件の貸付及び補助金交付を実施。引き続き制度のPRに努め、目標達成を目指す。	1事業	一千万円以上
190	リサイクル製品の認定	製品	12	17	18	19	34	40	22	新規認定の見込みは15製品。引き続き新規認定の増大に向けた制度のPRと確実な認定更新の推進に努める。	1事業	百万円未満
191	3Rモデル事業所の推進	事業所	9	17	14	16	18	25	22	新規認定は4事業所。引き続き新規認定の増大に向けた制度のPRと確実な認定更新の推進に努める。	1事業	百万円未満

「オンリーワン徳島行動計画(第二幕)」目標水準・数値目標 進捗状況 一覧表

※印は21年度版で上方修正

番号	指 標 名	単位	現況値		<参考>実績値		実績値		目標値	年度	進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
			年度	年度	(18年度)	(19年度)	(20年度)	年度				事業数	H21事業費
192	「循環型社会形成推進地域計画」の策定数	計画	—	17	1	2	3	5	22	平成21年1月に那賀町が計画(案)を作成、同年3月に国の承認を得た。	1事業	百万円未満	
193	企業との連携による不法投棄監視協力企業等(累計)	社・団体	—	17	2	5	5	10	22	19年度までの実績は、5社・団体。20年度に新たな締結はなし。引き続き企業への協力を呼びかけている。	1事業	百万円以上	
194	「優良産業廃棄物処理業者認定制度」の創設				—	検討	検討	創設	21	21年度の創設予定、現在要綱策定中。	1事業	一千万円以上	
195	産業廃棄物適正処理講習会受講者(累計)	業者	244	17	345	445	534	600	22	20年10月に講習会を開催し89業者が受講した。目標達成に向け順調に進捗している。	1事業	百万円以上	
196	特別管理産業廃棄物適正処理講習会受講者(累計)	業者	—	17	59	159	248	※延べ200	22	20年10月に講習会を開催し89業者が受講した。目標達成に向け順調に進捗している。	1事業	百万円以上	
<b>3-6 自然との共生とくしまづくり</b>													
197	希少野生生物保護巡視団体・個人等	団体・個人	—	17	—	30	29	25	22	19年度から実施している。20年度実績は28名、1団体。	2事業	百万円以上	
198	ニホンジカモニタリング調査				調査	調査	調査	調査	19~22	20年度調査分については、10月~11月にかけて調査を実施した。	1事業	百万円以上	
199	新規狩猟者の確保	人/年	149	17	125	93	98	180	22	講習会の開催など、新規狩猟者の確保を図った。	2事業	百万円以上	
200	ニホンジカ捕獲数	頭/年	2,041	17	2,175	2,468	—	3,800	22	個体数調整捕獲、有害鳥獣捕獲などの許可捕獲及び狩猟により捕獲を進めているが、20年度実績は21年夏頃に判明の予定。	1事業	百万円以上	
201	イノシシ捕獲数	頭/年	4,156	17	4,206	4,188	—	6,000	22	個体数調整捕獲、有害鳥獣捕獲などの許可捕獲及び狩猟により捕獲を進めているが、20年度実績は21年夏頃に判明の予定。	1事業	百万円以上	
202	自然を再生する事業の実施地区数	箇所	1	17	1	2	2	2	22	竹ヶ島海中公園自然再生事業は継続実施。剣山希少植物回復事業(防鹿柵整備事業)は19年度完了。	1事業	一千万円以上	
203	「どんぐりプロジェクト」による育苗本数(平成19年度からの累計)	本	—	17	—	13,000	21,000	40,000	22	民間の資金や人材の協力を基に育苗を進めている。			

「オンリーワン徳島行動計画(第二幕)」目標水準・数値目標 進捗状況 一覧表

※印は21年度版で上方修正

番号	指標名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	<参考> 実績値 (19年度)	実績値 (20年度)	目標値	年度	進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
											事業数	H21事業費
204	集落等で取り組んだ鳥獣被害防止施設等の整備件数(累計)	件	129	15	230	252	259	※260	22	鳥獣被害防止に向けた啓発普及などを行いつつ、防護柵の設置や捕獲檻の整備を推進し、ほぼ目標を達成した。今後も引き続き推進する。	1事業	百万円以上
205	新たなカワウ食害防除取り組み件数(累計)	件	—	17	0	6	6	10	22	カワウ飛来状況調査を実施した。	1事業	百万円以上
206	外来種(アライグマ)調査				—	調査	推進	調査	19	19年度において、アライグマの基礎調査を実施。20年度において、被害防除打合会を実施した。		ゼロ予算事業
207	登山道と四国のみちの再整備ルート数(累計)	ルート	—	17	2	3	5	5	22	18年度に四国のみち2ルート、19年度に剣山登山道1ルート、20年度四国のみち2ルートを整備。	1事業	一千万円以上
208	自然環境調査に基づく事業計画策定地区数(累計)	地区	23	17	30	36	40	43	22	平成20年度は、新たに自然環境に配慮した農業農村整備事業4地区(累計40地区)に着手した。	2事業	一千万円以上
209	薬場造成箇所数(累計)	箇所	—	17	1	4	4	6	22	鳴門地区において4箇所の薬場造成を完了した。また、平成20年度から阿南地区の薬場造成を進めている。	1事業	一千万円以上
<b>3-7 未来を守るとくしま森林づくり</b>												
210	間伐実施面積(累計)	ha	7,062	17	14,276	21,765	28,462	※30,000	22	H20に間伐促進法が制定され、間伐を強力に推進する体制となっており、目標のとおり達成見込である。なお、H21補正の森林整備加速化・林業飛躍基金による追加的な間伐実施を行うため、目標を引き上げた。	3事業	一億円以上
211	とくしま公有林化プロジェクト(とくしま絆の森事業)による森林の取得面積(累計)	ha	393	17	727	737	1,005	1,200	22	平成20年度は新たに上勝町で18.25ha、海陽町で181.3ha、美馬市で78.39ha取得し、合計1005haとした。	1事業	一億円以上
212	複層林誘導面積(累計)	ha	206	17	516	906	1,319	2,800	22	平成20年度は413haの長伐の複層林への誘導を図った。さらに、高齢級の間伐などにより、複層林への誘導を加速する。	1事業	一億円以上
213	保安林指定面積(民有林)	ha	92,005	17	92,758	92,947	94,183	94,000	22	保安林指定手続きは、毎年計画どおりに進み、目標を達成した。	2事業	百万円以上
214	森林整備地域活動において施業の集約化に取り組む実施協定数(累計)	協定	—	17	—	8	12	17	22	平成20年度は4地区(55ha)で集約化に向けた地域活動が行われた。	1事業	一億円以上

「オンリーワン徳島行動計画(第二幕)」目標水準・数値目標 進捗状況 一覧表

※印は21年度版で上方修正

番号	指 標 名	単位	現況値		<参考> 実績値 (18年度)	<参考> 実績値 (19年度)	実績値 (20年度)	目標値	年度	進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
			年度	年度							事業数	H21事業費
215	環境に配慮した森林の認証取得面積(累計)	ha	—	17	1,065	5,715	6,616	8,000	22	制度のPRや森林現況調査を実施し、平成20年度は新たに2団体(901ha)が認証を取得した。	1事業	一千万円以上
216	地籍調査事業の実施市町村数	市町村	18	17	18	19	19	21	22	平成20年度は、継続地区の進捗を図った。	1事業	一億円以上
217	企業等による森づくり件数(累計)	件	2	17	5	7	8	10	22	森づくりに係るPR活動を行い、平成20年度は那賀町において企業による森づくり活動が行われた。	1事業	百万円以上
218	県民参加による植樹など森づくり件数(累計)	件	—	17	2	3	5	5	22	「県民参加による森林づくり」として、吉野川市及び那賀町においてボランティアによる植樹活動を実施した。	1事業	百万円以上
<b>基本目標4「安全・安心とくしま」の実現</b>												
<b>4-1 安全・安心とくしま体制づくり</b>												
219	被災建築物応急危険度判定士	人	579	17	609	594	594	600	22	平成20年9月1日に阿南市で開催された徳島県総合防災訓練に参加し、建築物の実物大模型を使用して危険度判定の訓練を行った。		
220	被災宅地危険度判定士	人	171	17	210	252	288	340	22	被災宅地危険度判定士の育成講習会を平成20年12月17日、18日に開催。		
221	情報ネットワーク基盤の確保				未整備	整備	運用	整備	19	平成20年3月に整備。平成20年度から本格運用し、災害時にも県民へのホームページによる情報提供を継続的に行う。		
222	災害時等応急対策関係者会議の設置				未設置	設置	運営	設置	19	平成20年2月に設置し、災害発生時の応急対策に重要な役割を果たすライフライン事業者等との連携強化を行った。また、平成20年7月に会議を開催した。		
223	「消防広域化推進計画」の策定				未策定	策定中	策定	策定	19	平成20年8月15日「徳島県消防広域化推進計画」を策定した。		
224	水防情報伝達システムの拡充				—	更新に着手	完了	システム 全面更新	19	水防情報伝達システムの更新・改良工事に着手し、平成20年度に完成。		
225	河川の水位局数	局	58	17	58	58	60	98	22	平成20年度は、新たに水位観測局を2局設置。	1事業	一千万円以上
226	潮位情報提供システムの整備				—	仕様検討	関係機関 調整	整備	21	潮位情報システム構築に向け、その役割分担などについて、関係機関と調整を行った。	1事業	一千万円以上



「オンリーワン徳島行動計画(第二幕)」目標水準・数値目標 進捗状況 一覧表

※印は21年度版で上方修正

番号	指標名	単位	現況値		<参考> 実績値 (18年度)	<参考> 実績値 (19年度)	実績値 (20年度)	目標値		進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
			年度	年度				年度	年度		事業数	H21事業費
227	浸水想定区域の指定河川数	河川	—	17	4	7	11	※11	22	平成20年度は、真光川、那賀川、福井川、日和佐川の4河川を指定。	1事業	一千万円以上
228	土砂災害ハザードマップ等による防災意識啓発箇所数	箇所	—	17	57	200	800	1,900	22	徳島市眉山町地区他約600箇所地元説明会を開催し、防災意識啓発を行った。	2事業	一億円以上
229	「広域防災活動計画」の作成				未作成	作成	検証	作成	19	平成20年3月に作成。平成20年9月の総合防災訓練の場で検証するなど、防災体制のより一層の充実に努めた。	1事業	百万円未満
230	「徳島防災情報ポータルサイト」の整備				未整備	整備	運用	整備	19	平成20年3月に整備。平成20年6月にホームページ「安心とくしま」として供用開始し、併せて徳島県・(株)ローソン協働事業として、県内ローソン各店舗で県民への周知を図った。同時にインターネットラジオ番組「防災とくしまポッドキャスト」の配信も開始した。更に11月から、携帯電話版「安心とくしま」の供用も開始し、コンテンツの充実に努めている。	1事業	百万円未満
231	「全国瞬時警報システム」の整備				未整備	整備	運用	整備	19	平成20年3月に運用開始し、迅速・的確な初動体制の確保を図った。また、平成20年4月、12月にシステムを活用した緊急地震速報発表時の対応訓練を実施した。	1事業	百万円未満
232	「徳島県職員災害応援隊」の結成・運用				—	—	結成・運用	結成・運用	20	平成20年10月に結成し、被災市町村等への迅速な県職員の応援派遣や現地の被災状況に応じた的確な応急対策活動を支援する体制を整えた。	1事業	百万円未満
233	災害発生時における「総合情報通信ネットワークシステム」の再整備		実施設計	17	整備中	整備完了	運用	整備完了	19	平成20年3月に整備工事完了し、災害発生時における被災情報等の迅速な収集と的確な災害対応を行う。		
234	防災センター利用者数(累計)	人	76,390	17	103,346	131,390	163,510	300,000	22	防災に関する体験学習、研修の場としての防災啓発施設として、利用者は増加傾向にある。	1事業	百万円以上
235	南部防災拠点施設の整備				—	基本構想策定	実施設計等の実施	完成	22	平成20年度は実施設計等について実施した。	1事業	一億円以上
236	耐震相談件数(累計)	件	560	17	633	725	794	1,150	22	平成20年度は69件の相談があった。今後は、市町村での広報を依頼する等、広報活動を強化する。	1事業	百万円以上

「オンリーワン徳島行動計画(第二幕)」目標水準・数値目標 進捗状況 一覧表

※印は21年度版で上方修正

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	<参考> 実績値 (19年度)	実績値 (20年度)	目標値	年度	進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
											事業数	H21事業費
237	「第5次徳島県保健医療計画」及び新たな「徳島県健康増進計画」の策定		—	17	—	策定	推進	策定	19	平成20年3月26日策定。冊子及び概要版を作成、配布し、推進中。		
238	「徳島県がん対策推進計画」の策定		—	17	—	策定	推進	策定	19	策定した計画に基づき事業を展開	1事業	一千万円以上
239	「健康とくしま憲章」の制定・推進					制定	推進	推進	20	平成20年3月26日制定。啓発チラシを作成・配布、パネルを保健所に送付、無料貸出。		
<b>4-2とくしま-0(ゼロ)作戦の展開</b>												
240	南海地震発生時における最大死亡者数	人	4,300		—	—	—	0	—	「徳島県地震防災対策行動計画」(平成17年度策定、平成20年10月改善見直し)に基づき、南海地震対策の推進に努めた。		
241	県有防災拠点施設等の耐震化率	%	34	17	50	55	61.8	70	22	平成18年度に策定した「防災拠点等となる県有施設耐震化計画」に基づき、計画どおりに改修工事が着手されている。		
242	木造住宅耐震診断の実施戸数(累計)	戸	2,144	17	2,657	3,472	4,356	10,000	22	市町村と協力し、戸別訪問や押しかけ講座等の「耐震診断重点啓発事業」をより充実して展開し、884戸の耐震診断を実施。	1事業	一千万円以上
243	自主防災組織率	%	56.8	17	65.2	72.1	77.6 (速報値)	100	22	寄り合い防災講座や補助金等による支援により、自主防災組織の結成・活動活性化に努めている。	1事業	百万円以上
244	4県(三重県・和歌山県・徳島県・高知県)自主防災組織交流大会の開催				—	開催	—	開催	19	平成20年1月に県郷土文化会館を会場に、4県の自主防災組織関係者等が一堂に会し、地震防災に関する情報共有や意見交換等を行い、地域防災力の強化を図った。		
245	地域防災推進員養成研修会受講者数(累計)	人	54	17	108	228	417	※300	22	自主防災組織の立ち上げや地域の防災活動に取り組む地域の防災リーダー「地域防災推進員」の養成に努めた。		
246	寄り合い防災講座の開催				154	224	253	年200回 開催		市町村との協働や各種啓発により、目標値を達成。		ゼロ予算事業
247	「南海地震対策推進パートナー」の育成	人			—	—	264	300	22	平成20年9月にパートナー応募者への集合研修を圏域ごとに実施した。		
248	災害ボランティアリーダー等育成講習会参加者数(累計)	人	1,199	17	1,665	1,900	2,092	3,000	22	防災センターを拠点に研修会等を開催するなど、災害ボランティアリーダー等の育成に努めた。	1事業	百万円以上

「オンリーワン徳島行動計画(第二幕)」目標水準・数値目標 進捗状況 一覧表

※印は21年度版で上方修正

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	＜参考＞ 実績値 (18年度)	＜参考＞ 実績値 (19年度)	実績値 (20年度)	目標値	年度	進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
											事業数	H21事業費
249	県西部圏域の孤立化対策の手引き書の作成				—	—	作成・推進	作成・推進	20	美馬市木屋平地区において孤立化対策研修会やワークショップ、孤立を想定した訓練などを開催し、その成果を基にした孤立化対策の手引き書の作成・普及啓発により地域防災力の強化を図った。		
250	津波避難困難地域を解消するための補助制度		単独補助制度の創設	18	—	促進	促進	津波避難施設等の整備	20	国庫補助制度を活用し、市町が実施する避難施設等の整備を促進し、津波避難困難地域の解消に努めた。		
251	木造住宅耐震改修等への支援（累計）	戸	82	17	169	266	358	県民ニーズに100%対応	19 ～ 22	県内全市町村が事業に取り組み、県民の要望には全て対応できた。今年度、92件の改修等の支援を行った。	1事業	一千万円以上
252	県立高等学校施設耐震化率	%	31	17	42	45	59	75	22	県立学校施設の耐震改修は9校で完了。改築は7校で完了、1校で実施中。	2事業	一億円以上
253	都市公園施設の防災拠点施設等の耐震化率	%	50	17	50	70	70	70	22	平成20年度、弓道場の耐震診断を実施。		
254	災害拠点病院の整備	病院	8	17	8	9	9	9	19	訓練、研修等により、個々の災害拠点病院の機能強化と消防機関等との連携強化に努めた。		
255	災害拠点病院等における医療救護班の整備	チーム	1	17	2	7	11	14	22	平成20年度は、4チームが国のDMAT（災害派遣医療チーム）研修を受講した。		
256	海岸堤防の耐震調査の実施海岸数	海岸	—	17	1	7	7	7	22	平成19年度、内妻、那佐海岸他4海岸の調査が完了した。		
257	海岸保全施設整備海岸数	海岸	4	17	5	5	6	6	22	日和佐港海岸が平成20年度新規事業採択。	2事業	一億円以上
258	地震防災対策行動計画に基づき実施する緊急輸送道路(延長24km)の改良率	%	—	17	15	56	61	100	22	国道438号上八万バイパス・上分バイパスが部分供用。	3事業	一億円以上
259	県管理の緊急輸送道路における要耐震橋梁の耐震化率	%	89	17	91	94.6	96.1	100	22	平成20年度は、国道492号宮内橋（美馬市）他2橋の対策完了。	2事業	一億円以上
260	浅川港浅川地区耐震物揚場の進捗率	%	—	17	42	59	83	100	20	平成18年度に耐震物揚場の整備に着手し、今年度は整備を促進。引き続き平成21年度の完成に努める。	1事業	一千万円以上
261	南部健康運動公園（防災機能を持ったオープンスペース）の整備【再掲】		整備中	17	整備中	多目的広場完成	管理棟完成	多目的広場を含むテニスコートエリアの整備完了	22	テニスコートエリアのうち、テニスコート4面が進捗し、管理棟の整備が完了。	1事業	一億円以上